

# 2018年度 スクールソーシャルワーク全国実践研究集会

## ～ 子どもの貧困とスクールソーシャルワーク ～

スクールソーシャルワーカー派遣事業がはじまって10年経過した中で、子どもの貧困が社会問題として取り上げられています。文部科学省では、子どもの貧困対策として、スクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた検討が行われています。また、厚生労働省では、地域共生社会の実現に向けて、学校と市区町村のつなぎ役としてスクールソーシャルワーカーの役割が期待されています。

そこで、子どもの貧困に対して、スクールソーシャルワーカーがどのような視点で子どもとその家庭や地域にアプローチをするのか、実践事例を通して取り組むべき課題を明確にするため、「子どもの貧困とスクールソーシャルワーク」をテーマに「スクールソーシャルワーク全国実践研究集会」を開催します。

1. 開催日時：2018年9月29日(土)
2. 会 場：東医健保会館 大ホール(東京都新宿区南元町4番地 JR信濃町駅下車徒歩5分)
3. プログラム(予定)：

時 間	内 容
10:30～10:40	オリエンテーション、開会挨拶
10:40～11:10 講演1 (30分)	【テーマ】「スクールソーシャルワーカー活用事業」 【講師】栗野 道夫 氏 (文部科学省初等中等教育局児童生徒課 課長補佐)
11:10～12:10 講演2 (60分)	【テーマ】「スクールソーシャルワーカーへの期待」 【講師】坂田 篤 氏 (清瀬市 教育長)
12:10～13:00	昼食休憩(50分)
13:00～14:30 基調講演 (90分)	【テーマ】「貧困問題の理解とソーシャルワーカーへの期待 (仮)」 【講師】稲葉 剛 氏 (立教大学大学院 特任准教授)
14:30～14:45	休憩 (15分)
14:45～17:15 シンポジウム (150分)	【テーマ】「子どもの貧困とスクールソーシャルワーク」 【コーディネーター】内田 宏明 氏 (日本社会事業大学 准教授) 【シンポジスト】 坂口 繁治 氏 (岩手県教育委員会支援チーム スクールソーシャルワーカー) 清水 剛志 氏 (富山県・富山市教育委員会 スクールソーシャルワーカー) 鈴木 庸裕 氏 (日本福祉大学 教授)
17:15～17:30	閉会挨拶

4. 参加対象：社会福祉士、教職員、教育行政、児童福祉関係者、スクールソーシャルワークに関心がある方 等
5. 定 員：170名 (e-メール、FAXの場合は必着、郵便の場合は消印有効)
6. 参加費：都道府県社会福祉士会の会員 9,000円 会員以外 12,000円 (資料代を含む)
7. 昼食・宿泊：各自、ご手配ください
8. 申込方法：所定の申込書にて **e-メール、FAX または郵便**により申し込みください (電話受付できません)。  
なお、e-メールで申し込みの場合、件名は研修名を入力ください。また、3営業日以内に生涯研修センターより申込書受領にかかるメールを返信します。返信が届かない場合は、通信障害が考えられますので、生涯研修センターにお問い合わせください。
9. 申込締切：**7月31日(火)まで(先着順)**
10. 参加可否：参加の可否は、8月末頃に文書にて通知します。併せて、会場案内、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。
11. 研修単位：生涯研修制度の単位は、1日間すべてのプログラムを修了することで、生涯研修制度独自の研修・実績5.75時間となります
12. 主 催：公益社団法人日本社会福祉士会 (所管：子ども家庭支援委員会)
13. 問合せ先：(公社)日本社会福祉士会 生涯研修センター (営業時間：月～金曜日 9:30～17:30)  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2F  
TEL:03-3355-6541 FAX:03-3355-6543 e-mail: kenshu-center@jacsw.or.jp